



笠懸西小学校



あずま小中学校

新設の2校が開校しました



4

月7日、みどり市立笠懸西小学校とみどり市立あずま小中学校の開校式が行われました。

笠懸小学校から分離・新設された笠懸西小学校は、みどり市産材を多く使用した3階建ての吹き抜けの新校舎で、各教室には電子黒板を設置し、校内放送や授業で使うタブレット端末と連携して運用します。また、太陽光発電や災害時にも使えるトイレなどを備え、避難所としても活用していきます。

開校初年度の児童数は426人で、式典には6年生80人が出席し、他の児童は各教室の電子黒板から式典の様子を見守りました。その後の入学式には、1年生70人と父母らが参加しました。

9年制の義務教育学校として新たに開校したあずま小中学校は、旧あずま小学校の校舎を活用しています。前身である「あずま小中一貫教育校」では、9年間の連続性を意識した一貫教育や特色ある英語教育の推進など、先進的な教育実践を行ってきました。その成果をさらに発展させ、英語教育やプログラミング教育に力を入れていきます。

新1年生2人に加え、小規模特認校制度などを利用した転校生5人を含めた児童・生徒26人が、新たな一歩を踏み出しました。

問い合わせ先

学校教育課 ☎(76)9845